

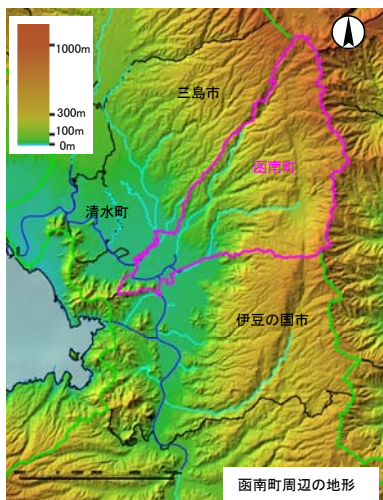
函南町水災害対策プランの概要

■ 水災害対策プランとは

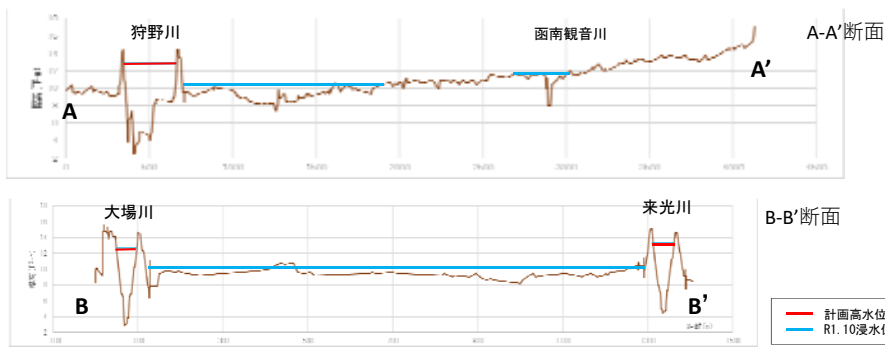
- 近年、気候変動の影響により水災害のリスクが増大しています。激甚化、頻発化する豪雨災害に対し、流域のあらゆる関係者が主体的に水害対策に取組む「流域治水」を進めていく必要があります。
- 函南町では、これまでも大場川左岸下流域豪雨災害対策アクションプラン(H22.3策定,H27.3改訂)、狩野川中流域豪雨災害対策アクションプラン(H25.7策定)により、浸水被害軽減に向けた対策を実施してきました。
- 水災害対策プランは、気候変動による将来的な流出量の増加も踏まえ、河川及び流域での長期的な対策の取組の考え方を念頭に、近年発生した洪水に対して被害軽減を図るための施策をまとめたものです。

■ 函南町の地形の特徴

- 函南町は狩野川中流域の北東に位置し、東部は箱根山系の山地が占め、西部は田方平野の低地となっており、狩野川、大場川、来光川、柿沢川などの高い堤防に囲まれた土地は雨水排水が困難な地形の特徴がある。
- 豪雨や台風時には、狩野川上流の天城山系や箱根山系の大雨により狩野川や大場川、来光川、柿沢川の水位が上昇し、昭和33年の狩野川台風では、狩野川の堤防が決壊し、流域に甚大な被害を及ぼしている。
- 狩野川台風以降の河川整備の進捗により、近年堤防の決壊には至っていないが、函南町西部の狩野川沿いの地区は、狩野川や来光川などの水位上昇により、低地の雨水の排水が困難となり、内水による浸水被害が発生しやすい地形条件となっている。

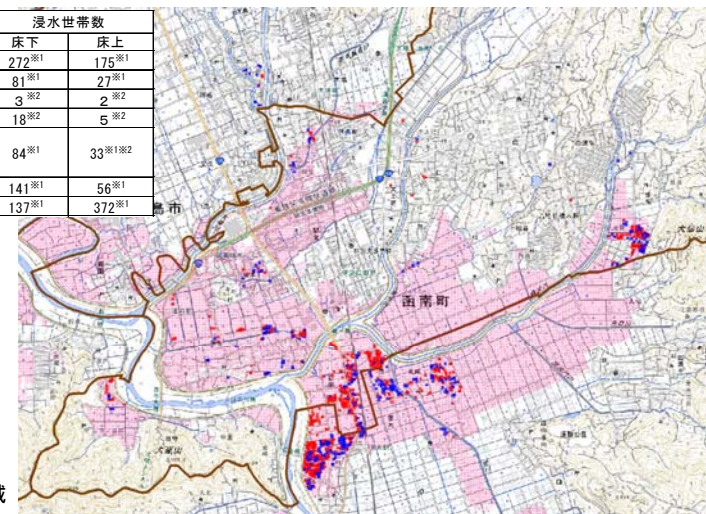


背景図は国土地理院色別標高図、空中写真



■過去の浸水被害の状況

発生時	大雨要因	浸水世帯数	
		床下	床上
H10. 8	豪雨	272※1	175※1
H10. 9	豪雨及び台風5号	81※1	27※1
H15. 8	豪雨	3※2	2※2
H16. 10	台風22号及び豪雨	18※2	5※2
H17. 8	台風11号	84※1	33※1※2
H19. 9	台風9号	141※1	56※1
R 1. 10	台風19号	137※1	372※1



※1 出典：「統計書かんなんみ」より
※2 出典：水害統計より被災数量を集計

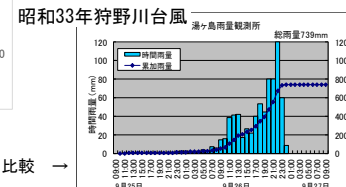
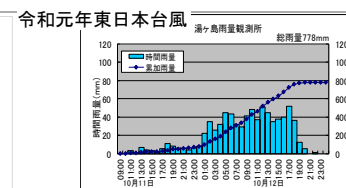
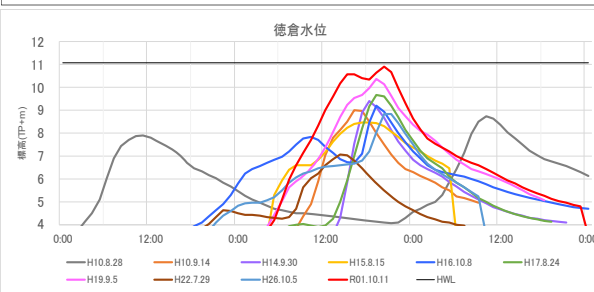
■ 令和元年東日本台風(台風第19号) 浸水被害の要因

<大雨が長時間継続>

- 令和元年東日本台風は、狩野川台風とほぼ同様の進路をたどり、天城山系に位置する湯ヶ島観測所における1時間雨量の最大値は52mmで、狩野川台風(120mm)より小さいものの、総雨量は狩野川台風(739mm)を上回る778mmとなっている。このため、狩野川本川の徳倉観測所において計画高水位(治水計画上の基準となる水位)に迫るなど、近年最大の高水位となり、また高い水位が長時間継続した。
- また、狩野川中流域の各雨量観測所における24時間雨量(三島：370mm、丹那：284mm、伊豆長岡：236mm、北狩野：551mm)は、既往の浸水対策計画で目標とした規模を超える降雨となり、近年で最大規模の浸水被害となった。

<流域の開発と地形的要因>

- 昭和40年以降、急速に農地から宅地に転換され、住宅地が拡大した。現在においても残された農地の宅地化が進んでいる。
- 従来田畑に貯留、浸透していた雨水が河川に流出しやすくなるとともに、浸水しやすい低地に宅地が増加し、家屋浸水リスクが高くなっている。
- 函南町には、隣接する三島市や伊豆の国市からの雨水流入する地区もあるため、被害軽減には隣接する自治体等との連携が不可欠である。



↑ 狩野川下流部 徳倉地点における主な洪水の水位時間変化の重ね合わせ

令和元年東日本台風と昭和33年狩野川台風の湯ヶ島地点における降雨量の比較

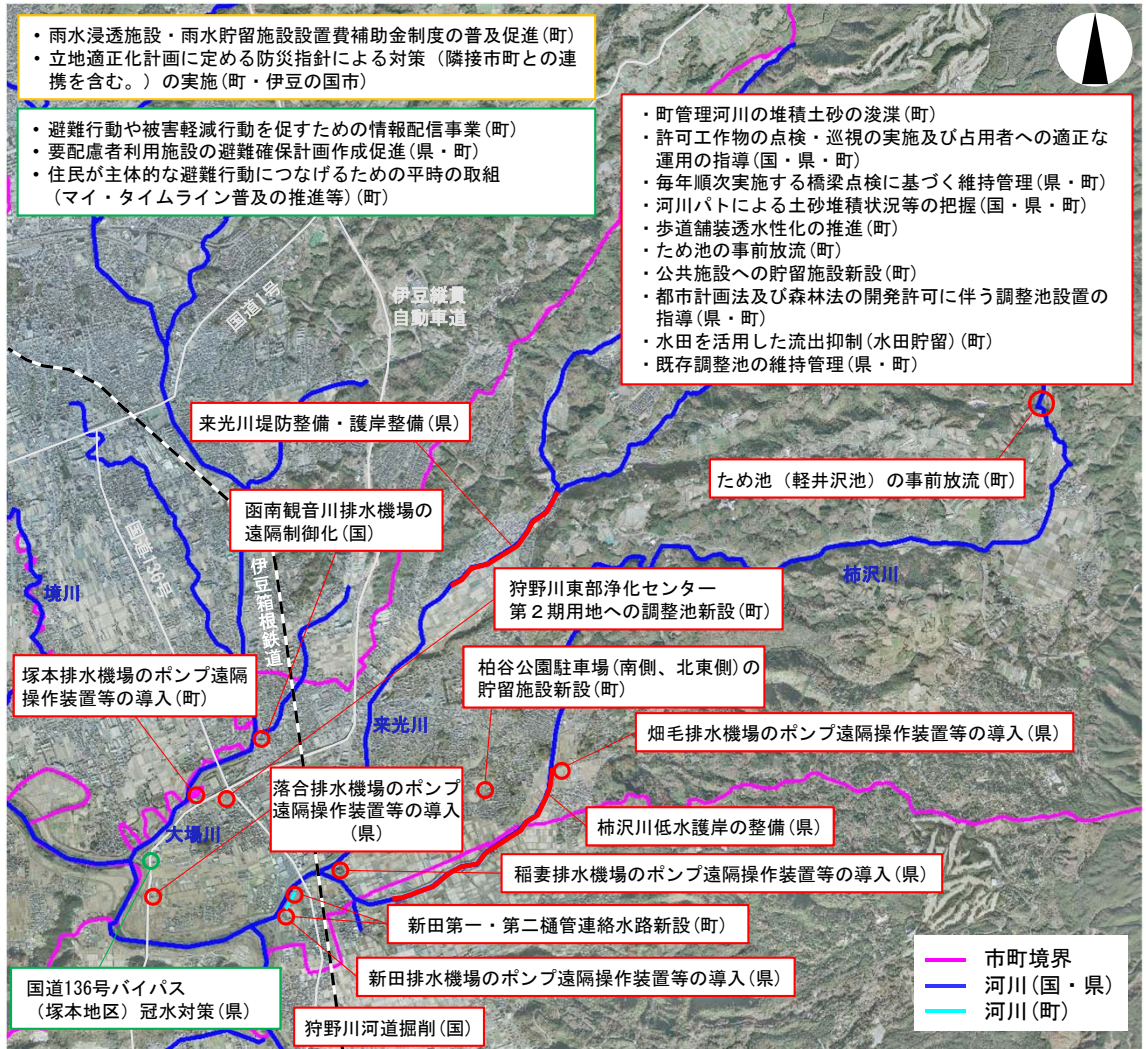
函南町水災害対策プランの概要

■プランの目標

気候変動により降雨が頻発化・激甚化することを踏まえ、河川及び流域の関係者が一体となった治水対策を進めることとし、今後概ね20年で令和元年東日本台風と同規模の洪水に対して、床上浸水※を概ね4割軽減することを目指す。（※浸水深が45cm以上である世帯を床上浸水とする。）

■水災害対策プランの対策メニュー（函南町及び国、県）

3つの対策	施策名	対策メニュー	主体	分類	実施時期		
					短期(5年)	中期(10年)	長期(20年)
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道流下能力の向上、戦略的維持管理の推進	狩野川河道掘削	国	ハード対策	○		
		来光川堤防整備・護岸整備	県	ハード対策	○		
		柿沢川低水護岸の整備	県	ハード対策	○	○	
		町管理河川の堆積土砂の浚渫	函南町	ハード対策	○	○	○
		排水機場（落合・塚本・新田・稲妻・畑毛）のポンプ遠隔操作装置等の導入	県 函南町	ハード対策	○	○	
		函南観音川排水機場の遠隔制御化	国	ハード対策	○	○	
		許可工作物の点検・巡視の実施及び占有者への適正な運用の指導	国・県 函南町	ソフト対策	○	○	○
		毎年順次実施する橋梁点検に基づく維持管理	県 函南町	ソフト対策	○	○	○
		河川バトによる土砂堆積状況等の把握	国・県 函南町	ソフト対策	○	○	○
	雨水貯留浸透機能の向上	歩道舗装透水性化の推進	函南町	ハード対策	○	○	○
		新田第一・第二樋管連絡水路新設	函南町	ハード対策			
		ため池の事前放流	函南町	ソフト対策	○	○	○
		公共施設への貯留施設新設	函南町	ハード対策	○	○	○
		都市計画法及び森林法の開発許可に伴う調整池設置の指導	県・函南町	ソフト対策	○	○	○
		狩野川東部浄化センター第2期用地への調整池新設	函南町	ハード対策	○		
被害対象を減少させるための対策	土地利用・住まい方の工夫	雨水浸透施設・雨水貯留施設設置費補助金制度の普及促進	函南町	ソフト対策	○	○	○
		立地適正化計画に定める防災指針による対策（隣接市町との連携を含む。）の実施	函南町 伊豆の国市	ソフト対策	○	○	○
被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	避難体制の強化	避難行動や被害軽減行動を促すための情報配信事業	函南町	ソフト対策	○	○	○
		要配慮者利用施設の避難確保計画作成促進	県 函南町	ソフト対策	○	○	○
		住民が主体的な避難行動につなげるための平時の取組（マイ・タイムライン普及の推進等）	函南町	ソフト対策	○	○	○
		国道136号バイパス（塚本地区）冠水対策	県	ハード対策	○		



函南観音川排水機場の遠隔制御化(国)



来光川堤防整備・護岸整備(県)



ため池(軽井沢池)の事前放流(町)

・ 今後も施設の建替などの機会に応じた流出抑制施設の整備など雨水を貯める取組を継続的に検討する。
 ・ 上記メニューは、今後の検討等により変更となる場合がある。